

# 2021年度 学校関係者評価報告書

2022年6月17日

学校関係者評価委員会  
ホンダテクニカルカレッジ関西

## ■ 学校関係者評価

学校関係者評価とは、学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図ることを目的としています。具体的には、学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指しています。

## ■ 学校関係者評価委員会 開催概要

開催日時： 第1回 2022年6月17日                      2021年度 自己評価に基づく関係者評価  
                    第2回 2022年11月18日                      開催予定

開催場所： ホンダ テクニカル カレッジ 関西

委員長： 水口 和明 様                      株式会社 ホンダ四輪販売 関西取締役 管理本部長

委員： 木村 一年 様                      本田技研工業株式会社 日本本部 地域人事部 人事労政課 主幹  
            河井 政昭 様                      株式会社 ホンダ泉州販売 営業部 サービス課 課長  
            今井 里佳 様                      ホンダ テクニカル カレッジ 関西 後援会 会長

学校側  
出席者： 五月女 浩                      校長  
                    西山 忠臣                      教頭 兼 学務室 室長（本委員会事務局）  
                    寺尾 典篤                      教務部長 兼 一級自動車整備研究科 科長  
                    木村 泰之                      教務部 自動車研究開発科 科長  
                    白石 拓三                      教務部 自動車整備科 科長 兼 自動車整備留学生科 科長

## ■ 評価プロセス (第一回委員会)

- 委員会開催前に学校側より委員の方々に2021年度自己評価書をお送りし、ご意見・ご質問をいただきました。
- 委員会では、学校側より学園概要、教育内容、2022年度の重点課題、重点目標を説明し、まず委員会での課題共有を図りました
- その後、2021年度自己評価書の内容説明及び事前にいただきましたご意見・ご質問への回答・コメントをさせていただき、質疑応答を通して意見交換を行い、更に詳細に課題認識を深めました。
- そして、学校関係者評価委員会としてこの最終評価をまとめました。以下に、基準ごとの評価結果を報告致します。

## ■ 評価結果

### 基準 1：教育理念・目的・育成人材像等

- 教育理念・目的が明確に定められており目指す人材像が想像できます。Hondaらしいチャレンジ精神に溢れた人材の育成をお願いします。

### 基準 2：学校運営

- 学校運営には学生数の確保が至上命題と存じますが、国内の社会的背景を鑑みますと国外からの人材確保が必要であると考えます。御校におかれましても『留学生の受け入れ体制を強化』とありますが、コロナ禍で留学生自体が減少していると思われます。留学生の確保も困難な状況ではないでしょうか？
- 昨年度は、コロナ禍の状況において、新型コロナウイルス感染リスクへの問題に対し、厳しい学校運営であったと推測します。その状況の中で、学園として出来る最大限のリスク対策を検討され、状況に応じた適切な対策が実行されたことは、教職員、学生、関係社員の皆様の連携によるものと評価します。
- すでに対応策はご検討中かと思いますが、関西校においては、ここ2年間、留学生の入国ができて居ない状況を鑑み、今後の入学者確保の対応や学内の様子等、その後の採用活動のアクションがどの程度動いているかをお聞きしたいと考えています。

### 基準 3：教育活動

- 技術革新に伴いカリキュラムを進化させるなど社会に求められる人材育成に努められている。メーカー校の特色を生かし新技術に対応できる人材育成をお願いします。
- 先日の保護者見学会の際、クラス懇談に出席させて頂きました。一級整備士合格に向けての取り組みが素晴らしいと思いました。試験前日まで対応して頂けること、感謝致します。

## 基準 4：教育成果

- 整備士試験では全ての科目で100%合格を達成しており素晴らしい実績です。又、就職内定率においても100%を達成しており確実に教育の成果が発揮されている。
- 主要整備士資格取得率
- 現状で主要資格の取得率が100%と高位安定していますので、今後も引き続ききめ細かい教育と充実したフォローをお願いします。

## 基準 5：学生支援

- 充実した支援体制を構築されており、素晴らしい取り組みばかりです。唯一の気掛かりは留学生の経済的支援ですが、制度を充実させる方向性をお聞かせください。
- 進路指導の更なる有効性向上についてですが、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大により、特に海外からの留学生についてはアルバイト収入の減少等といった影響が出ているようです。これにより比較的高額な費用が必要となる運転免許の取得が遅れている学生も多く見受けられています。自動車整備士として就労する場合、大多数の企業が採用条件としている「普通自動車免許」の取得推進についても、これまで以上に計画的に取得ができるような指導体制の確立をお願いします。

## 基準 6：教育環境

- メーカー校ならではの最新の設備、教材はどれも素晴らしく、充実した教育環境です。
- 設備環境が充実している中で、学ばせて頂いて有難いです。

## 基準 7：学生募集と受け入れ

- コロナ禍での募集活動、心中お察ししますが、引続き地道な募集活動を宜しくお願いします。整備士を目指す若者の減少は販売会社としても責任を感じており、労働環境の改善等社会的地位の向上に努めてまいります。
- 日本人学生の募集拡大についてですが、全国的に整備士養成専門学校については海外からの留学生比率が高まっています。一方で日本人学生比率が大幅に減少しています。ホンダと強い関係のあるメーカー校でありますので、他の一般的な専門学校と比べて優位性があると思いますので、日本人学生の募集受け入れについても引き続き強力なご推進をお願いいたします。

## 基準 8 : 財務

- ・ 財務状況はホームページ上で公開されるなど透明性が高く、監査状況などからも適正に運営されています。しかし、収支に関しましては学生確保が困難な状況であり改善が必要です。引続き募集活動の強化をお願いします。

## 基準 9 : 法令等の遵守

- ・ 各監督官庁の指導に則り適正に運営されているものと判断しております。自己点検・自己評価では細部にわたり読み取れます。

## 基準 10 : 社会貢献

- ・ 数々の社会貢献への取り組み、敬服いたします。なかでも狭山市と連携し子供達へのメカニック体験は素晴らしい取組であり、この活動は必ず実を結ぶものと信じております。
- ・ 引き続き、地域社会への貢献活動をお願いします。

## その他

- ・ 特にございません。

## ■ まとめ

- ・ 自己点検・自己評価報告書や委員会で学園概要、教育内容、2021年度の重点課題、重点目標などの確認を行ない、前期レビューや昨今の環境認識を含めて重点課題を明確にして取り組まれていることを確認しました。今年度、重点課題としている事項への対応については確実な実績・成果に繋げるため、きめ細かな進捗管理を行なって取り組み強化をお願いします。
- ・ 学生の資格取得を100%達成していることについては、素晴らしいことではあるので、引き続き継続して行ってほしい。
- ・ 学生募集は、SNS等デジタル技術を有効活用されていると感じた、効果測定が難しいとは思いますが、アンケート等で効果を確認し、今後の募集活動に活かして欲しいのと留学生についても、日々変化してきている状況であるのでPDCAをまわしながらより確実に獲得できるようご尽力下さい。
- ・ 今後も、ホンダ学園の強みを十分に活かし、自動車業界の変革にも柔軟に対応し、「選ばれる学園の確立」に取り組んで下さい。